

# ■ 「コミュニケーション技術 手話」の 授業風景

<コミュニケーション技術（手話）・前期>

コミュニケーション技術（手話）の授業は半期（前期のみ）週2時間の授業です。聴覚障害者の方と手話通訳士の方が特別専門講師として、手話を使ったコミュニケーションや聞こえない方の生活について教えてください。



最初は挨拶から練習。「おはよう」「こんにちは」「こんばんは」。授業では、数字や色、季節や食べ物、動物、乗り物などいろいろな単語を練習します。先生はゆっくりと何度も繰り返し教えてくださいるので、とても温かい雰囲気の中で楽しく練習しています。

半期の授業が終わる頃には、挨拶や自分の名前、誕生日、好きな色、好きな食べ物、趣味など、手話で自己紹介ができるようになりました。



文化祭では、数字の手話とそれを使った手話単語、「東京都立立川緑高校」の手話を紹介しました。

当日発表する人、アナウンスの担当や手の出演など、みんなで相談して、自分のできることを協力し合って、日々の成果を発表しました。

東京都立立川緑高等学校

\* 本校の情報は本HPでご確認ください。SNS等での発信は一切行っておりません。誤情報にご注意ください。

\* 本HPに掲載されている画像／情報等のSNS転載・転用はご遠慮いただけますようお願いいたします。